

たんぼぼ

～熊本市の教育～

熊本市の教育に関する今の話題や出来事を報告します

たんぼぼの花が綿毛のついた種子を風に乗せて遠くへ飛ばすように、熊本市の教育に関する情報を広めていきたいという思いを込めて「たんぼぼ」と名付けました。

【城西中】「校区内のゴミ0」を合言葉に坪井川清掃活動で地域に貢献

3月22日(火) 城西中(西区)の2年生約70人が、海苔の養殖に影響を与える海水汚染を防ぐため、坪井川堤防沿いの清掃活動に参加した。

この取り組みは、校区内に海苔の養殖に従事している家庭が多いことから、生徒が普段生活している地域の仕事や自然環境を知るとともに、地域貢献活動を通して生徒の郷土愛を育むことを目的とし実施したものの。

活動に参加した生徒は、「思った以上にいろんなゴミがあり掃除するのに大変だったが、最後にきれいになって気持ち良かった。川にゴミを捨てないように呼びかけ、近くに落ちているゴミがあったら拾うようにしようと思った」と取り組みの感想を語った。

同中の森・前校長は、「生徒たちにとっては、学校目標にもある「郷土を愛する」ということについて、何がしか感じるところ、気づくところがあったのではないかと思う。これからも、自分の住む地域のことについて関心と愛着をもってくれればと思う」と話した。

(3月23日 熊本日日新聞に関連記事掲載)



【高平台小】地域住民と学校がグラウンドの芝生化に着手

3月22日(火) 高平台小(北区)の6年生106人が、校庭の一角にタイムカプセルを埋めた。同小では、昨年6月に地域住民と運動場の芝の移植に着手。児童が成人を迎える8年後には、緑の芝に覆われた校庭からカプセルを掘り出す計画である。

芝生化は、環境に配慮した良好な学びの環境を推進するとともに、子どもたちが緑と親しみ感情豊かに成長できることを目的に、同小の創立50周年記念事業として取り組んでいるもの。

活動に参加した児童は「8年後、高平台小の運動場が芝生できれいな緑色になっているのを楽しみにしています。ぜひ、遊びに来たい」と感想を語った。

同小の岩下校長は、「緑の芝生で運動や遊びを日常的に行うことで、豊かな心が育つことを期待している」と話している。

(3月26日 熊本日日新聞に関連記事掲載)



生育実験のほ場



【西原小】全日本学校関係緑化コンクールで文部科学大臣賞を受賞

西原小（東区）が、平成27年度全日本学校関係緑化コンクールの「学校環境緑化の部」で、特選の文部科学大臣賞に選ばれた。

同小では、学校の緑化活動の一環として、5～6年生の緑化委員24人が中心となり、特別活動の時間や「ゆとりの時間」等を活用して、児童一人ひとりが自然に親しむとともに、豊かな心を育むことを目的に取り組んできたもの。

活動に参加した緑化委員の児童は、「みんなと協力しながら花や緑を育てたことが、日本一につながってうれしい。地域のみなさんの支えがあったからだと思う」と感想を語った。

同小の木村校長は、「五十周年を迎えた本校は、創立当初から花づくり、緑づくりを行いながら、まごころの育成を図ってきた。本校の伝統を築かれた皆さんに感謝すると同時に、この伝統を大切にしたい」と話している。

（3月29日 熊本日日新聞に関連記事掲載）



【龍田西小】熊本市の新しい小学校「龍田西小」が誕生

龍田西小（北区）が市内95校目の小学校として今年4月に開校した。県内一の大規模校であった龍田小から分離新設された同小では、21学級583人の児童が、新しい校舎で学校生活を始めた。

4月8日（金）、43人の先生を迎えた就任式で児童代表の挨拶を行った6年の児童は、「新しい校舎・運動場で学べることをとてもうれしく思っています。龍田西小をみんながやさしく、笑顔の絶えない学校にしたいと考えています。そして、龍田小学校のように歴史に残る学校にしていきたいと考えています」と抱負を語った。

同小の橋口校長は、「龍田西小が出来上がるまでには、たくさんの方々の努力がありました。感謝の気持ちを自分の行動で示していきましょう。これから、新たな学校の歴史をつくる1年目として、一人一人が学校のこと、友達のこと、地域のことを大切に、10年、20年後もきれいで誇りのある学校にしましょう」と話した。（4月6日 熊本日日新聞に関連記事掲載）

